

9月の支出（図書、備品、慶弔、飲食除く）

71,961円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	18,855円
交通費(燃料代、高速代)	6,378円
通信費(携帯電話、折込)	46,728円
支出計 15/9/1～15/9/30	71,961円

市政を考える

月刊武松

発行日
15/10/1

第154号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

小田原市の人口減!?

小田原市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(案)から

最近特に、「小田原って、住みやすく災害も少ないのにどうして人口が減っているの?」とよく聞かれるようになりました。

月例の人口統計では、どの世代が、どこへ転入出しているのか?などは公表されていません。今回、国の政策で“ある、まち・ひと・しごと創生”関連で人口ビジョンをまとめるにあたり、データが示されたのでポイントを以下にまとめます。

■小田原市の人口と人口推移

図1 人口の推移

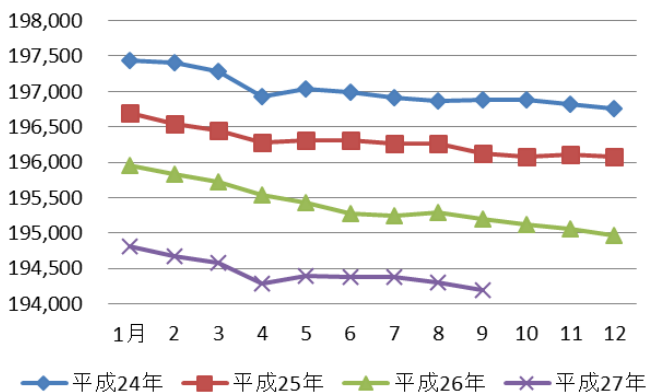


表1 小田原市の人口（2015年9月1日現在）

				前月からの増減	前年同月からの増減
人口	総数	194,190	人	△ 114	△ 1,007
	男	94,713	人	△ 22	△ 559
	女	99,477	人	△ 92	△ 448
世帯数	80,830	世帯	14		559

表2 2015年8月中の人口増減内訳

	総人口	自然増減	社会増減	転入	転出
総数	△114	△45	△69	444	513

■人口見通し

- 小田原市の総人口は、1999年の200,695人をピークに漸減しています。
- 小田原市の総人口は減少を続け、2040年には158,299人となっています。
（国立社会保障人口問題研究所の推計）

■年齢3区分別人口推移

- 生産年齢人口は、2000年頃をピークに、近年は減少傾向です。
- 1975年以降、年少人口は一貫して減少傾向。一方、老年人口は一貫して増加傾向です。

■自然増減（出生数－死亡数）

- 出生数は減少を続ける一方で、死亡数は増加し続けています。
- 2005年以降、死亡数が出生数を上回ります。
- 合計特殊出生率は、1.24（2013）で、改善傾向にあるものの、国、県よりも低く、人口維持に必要な2.00と大きくかい離しています。

表3 合計特殊出生率の比較

	2005	2013
市	1.20	1.24
国	1.19	1.31
県	1.26	1.42

※合計特殊出生率

一人の女性が、一生に産む子供の数の平均値。

■人口の推移の内訳

- 1971年以来、社会増減に関わらず、自然増のために総人口は増加傾向にありました。
- 徐々に自然増の数が少なくなり、1999年以降は社会減を補いきれず、総人口が減少に転じました。
- 2005年以降、自然減に転じています。
- 2007年以降は、総人口も減少に転じています。

■年齢階層別人口移動の推移

- ・各年、20～29歳の間に人口流出が見られます。
- ・各年、60歳以上では、人口流入傾向が見られます。

図2に年齢階層別人口移動の推移を示します。これは、1995年から2010年まで各5年間毎の人数をグラフ化したもので、■の2005→2010年では50代後半以降の人口流入傾向になっています。

首都圏の端である小田原の特徴なのかもしれませんが、大学進学や就職で転出し、気候温暖で今のところ災害が少ないため、定年以降に転入する傾向のようです。これは、税金を納める生産年齢人口が薄くなることから税収減となり、その一方、病院や介護を必要とする人口が増えることから、税支出が多くなります。出生数も減っていることから、将来的な収支は、さらに悪化します。

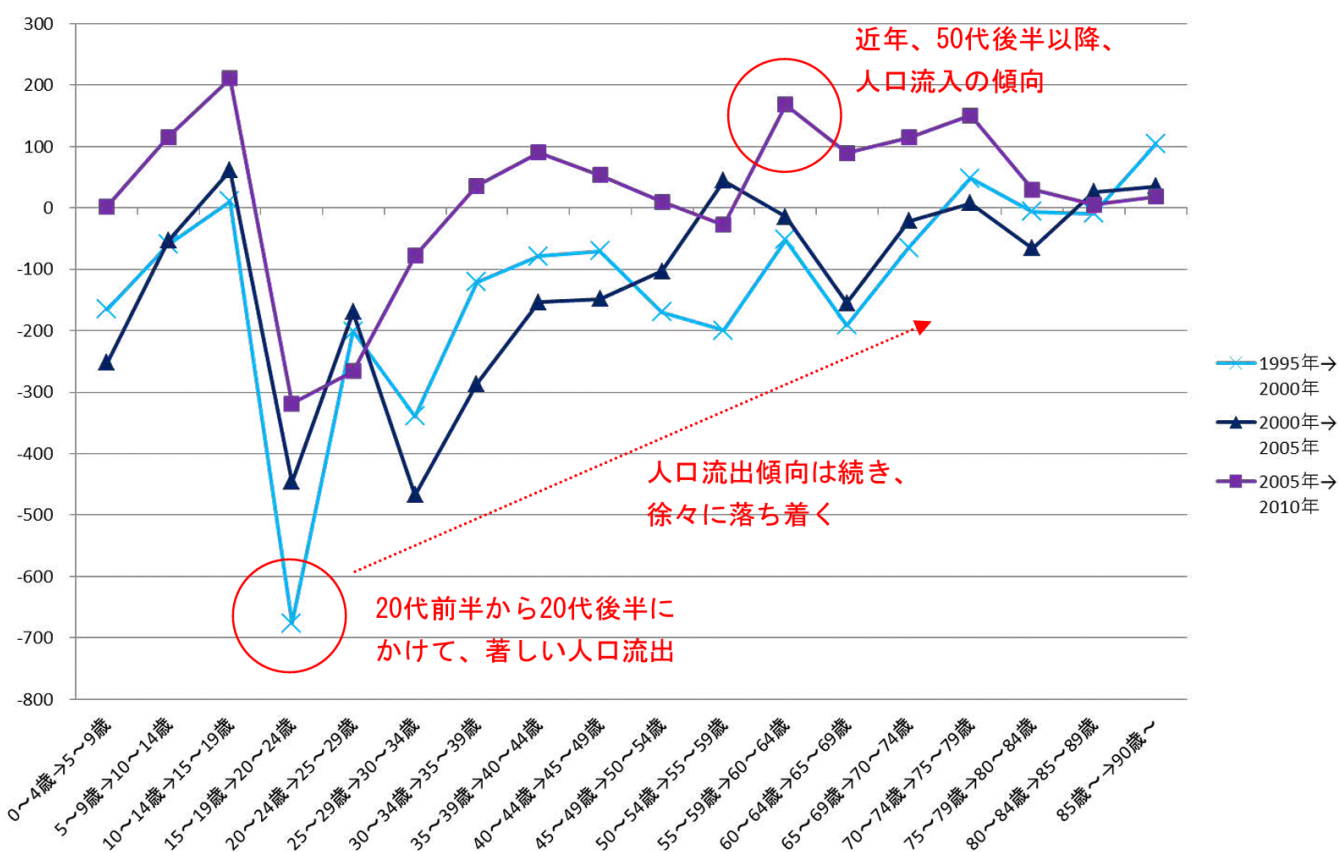
20～29歳の流出を食い止める対策が必要！

■近年の転入元、転出先の特徴

- ・中部地方からは、転入超過です。転入元は主に静岡県です。
- ・東京圏へは、転出超過です。
- ・2012、2013年ともに、横浜市への転出超過（2012年は139人、2013年は109人）及び箱根町からの転入超過（2012年は115人、2013年は156人）が目立ちます。
- ・2012年は、開成町、秦野市、南足柄市への転出超過（開成町へ92人、秦野市へ85人、南足柄市へ57人）が目立ちます。2013年になると、開成町とは転入転出が均衡しました。秦野市、南足柄市へは転出超過傾向が続いています。
- ・2012、2013年ともに、東京都への転出超過（2012年は77人、2013年は157人）が見られ、特に2013年が顕著です。

近隣市町への転出対策が必要！

図2 年齢階級別人口移動の推移(小田原市)(1995～2010年)



武松政策研究会からのお知らせ

日 時：10/24(土)18時～20時

場 所：小田原市民会館6階 第一多目的室

テーマ：「芸文センター・斎場について」

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。



HPは、「たけまつただし」で検索 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通 0051228 武松政策研究会 武松忠